

内藤若狭守は足輕頭野崎半之助と討
取遠江國いづる崎合戦より島居彦右衛門
元忠小属せしむる此時元忠小附属武士
凡七人ついで元忠の子に京亮忠政と
は之忠政年して遂に浪人となりたり

貞亨
書上

善玄清某ハ 按此善玄清某ハ父祖
の名不見なり

東照宮小つかうゆつと清年十七

ありてせ給ひり時今川家の先もこと
て大高の城と攻てせ給ひ三河藩第ハ士
従ひ奉るもの十六騎善玄清某と其一
人あり大いひ清初陣るまはハ
人々軍功と勵しける小善玄清も
つとつと武功と顯しけるはして善玄清
終身の武邊場數四四五度小及りり性
質たやまは口論ありて人と討果

よとく志づくちり記さまは負ぬも
るゝ遂小閑居るるに

東照宮甲斐守武田と清合戦あり
と江善玄清と名出さまこゝや行歩
心にまらせぬとと不知りいり
るゆゑと小とて武者奉行と命した
まらんとかうけおら病命ありこれ
とと一子善次郎某既小身ゆり候へ

世小望みも能はし再夜は勤は清ゆ
るどかうあらんこゝ江原に引たも
つと遂にわき死ありり其子善
次郎某ハ

東照宮清と若らこゝより召は
し十七歳時口論して人と殺害
其身と自殺せんとい

東照宮こゝ惜ませ給ひ命助け給らん

とて後邊半藏守綱とてとて女給ふ
に善次郎遊とて自害とて果たりけり貞享
書上

八十郎某の犬塚一族小とて櫻子の父祖
の名不見す

東照宮小使奉つて三河國東條の城と

せめ給ふとて城下暇あり合戦あり

八十郎十三歳少く遣とあり

東照宮法感有て法家人多くとて

とて七十三あり遣何とせとて海またり

とてとてに秘藏と給ひたり元龜三年

三方原合戦破れ法方武士枕とありとて

討死の犬塚一族究竟の七人討死

たりとて時八十郎とて同とて場小とて討死

とてとて甲斐の人とてとて小感稱

とてとて貞享
書上